

ひふみのあゆみ 2012年2月6日号

ひふみ投信 2012年1月度 ご報告書

レオス・キャピタルワークス株式会社
金融商品取引業者: 関東財務局長(金商)第1151号
加入協会: 社団法人投資信託協会
社団法人日本証券投資顧問業協会



RHEOS CAPITAL WORKS

レオス・キャピタルワークスよりお客様へ

お客さまの資産形成のパートナーに「ひふみ投信」をお選びいただき、誠にありがとうございます。

運用責任者から皆さまへのメッセージや2012年1月の運用状況などをご報告いたします。

◆ 1月の投資環境(株式市場等での出来事)について

1月の株式相場は、過度の欧州債務懸念の後退や米国の景気回復期待を背景に海外勢の買い姿勢が復活し、月末の日経平均株価は前月比4.1%高の8,802.51円と続伸しました。また1月の東証一部の1日平均売買代金(立会内のみ;概算値ベース)は9,884億円と、依然盛り上がりには欠けましたが、9,000億円を割り込んだ12月比では16.5%増加しました。

前月に続き根強い欧州信用不安を米景気回復期待が吸収する構図の中、月初の日経平均株価は8581.45円(日中高値)と約2週間ぶりの高値水準を回復して始まりました。しかし欧州債務懸念が後退することは無く、6日に1ユーロ97円台と約11年ぶりの水準にユーロ安が進み、8,349.33円(日中安値)と月中安値をつけました。その後は、米国の好調なマクロ指標や中国の金融緩和期待の高まりが徐々に下支え役を果たし、下げ渋りました。

月半ばに入ると、欧州債務問題解決に向けた相次ぐ施策が講じられて過度の悲観論が後退し始め、そして米国の景気回復期待も持続し、株式先物売り(売りポジションを保有し、価格下落時に利益を追求する戦略)を仕掛けていたヘッジファンド等も徐々に買戻しを余儀なくされ始めました。その結果、日経平均株価は反発に転じ、8,500円台を値固めする動きとなりました。

更に月後半に入ると、悪材料こそありましたが、市場参加者の楽観的な見方が徐々に増え始め、こうしたリスク選好度の高まりを背景にユーロ円も100円台を回復しました。更に25日に報じられた日本の31年ぶり貿易赤字転落を受けて円安が進むと、日経平均株価は8,911.62円と月中高値をつけました。その後は、米国の超低金利政策の長期化観測や米GDP予測比未達に起因した円高反転、欧州発のネガティブ材料等をこなして、8,802.51円と約3ヶ月ぶりの高値水準を維持する底堅さで月末を迎えました。

◆ 運用責任者よりお客様へ

1月の「ひふみ投信」の運用ならびに今後について(運用や見直しについては、市場動向等の変化によって、変更することがあります)

1月の運用成績は、前月比ではわずかながらプラスでしたが、日経平均株価やTOPIX(東証株価指数)の上昇率を超えることはできませんでした。

1月の株式市場は「リターンリバーサル」といわれる状況でした。「リターンリバーサル」とは、それまで株価が上昇していた銘柄が下落に転じ、下落していた銘柄が上昇するという巻き返しが起きることで、市場参加者が相場の転換点だと思った時によく発生します。今回のリターンリバーサル現象では、株価上昇の主体がこれまでの小型株から大型株へ、内需成長企業から外需成長企業へと変化しました。これは、今までひふみ投信に主に組み入れてきた銘柄には逆風となる動きです。また、震災復興関連銘柄の株価が大きく上昇しました。特に、低位株といわれる株価が100~200円台水準の銘柄にこの動きが目立ちました。

ひふみ投信では、12月の早い段階から「リターンリバーサル」相場の到来を予期して、大型株、輸出関連銘柄や今まで値動きの悪かった銘柄などの比率を引き上げや、震災復興関連銘柄の組入れを行っていました。

しかしながらこの対応がポートフォリオの大半に及んだわけではないことが、TOPIX等の株価指数の上昇率に及ばなかった背景にあると考えています。ただ、対応を限定的にしたのは今後の株式相場動向を見通した上で意図的に行なったところがあります。

今後「リターンリバーサル」は落ち着き、再度、株価と業績を見合わせて、実態価値より高い企業は売られて、割安な銘柄に投資される展開になると考えています。震災復興関連銘柄については、今後も内容を見極めながら投資比率を上昇させていこうと考えています。また、これまでと同様に、規模が小さくても成長力のある企業への投資も進めることは継続していきます。

(ひふみ投信 運用責任者 藤野英人)

・本資料は、レオス・キャピタルワークス(以下「当社」といいます。)が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。

・本資料の作成にあたり、当社では情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。

・本資料に掲載されている市場見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。

・投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、投資判断はお客さまご自身で行っていただきますようお願いいたします。

ひふみ投信の基準価額について

2012年1月31日時点の基準価額 **1万口当り 12,114円**

(基準価額とは「ひふみ投信」の値段のことです)

■ 運用成績について

■ 基準価額の推移

基準価額のあゆみ [騰落率]		TOPIX騰落率
過去1ヵ月	0.70%	3.66%
過去3ヵ月	-3.70%	-1.15%
過去6ヵ月	-8.18%	-10.23%
過去1年	-4.05%	-17.01%
過去3年	17.29%	-4.88%
設定来	21.14%(※1)	-30.54%(※2)



※1 設定来の基準価額の騰落率は、当初募集価額(10,000円)から2012年1月31日までににおける数値です。
 ※2 設定来のTOPIX騰落率は、当初設定日前日である2008年9月30日から2012年1月31日までににおける数値です。

(注) TOPIXは、当初設定日前日である2008年9月30日の値(1087.41)を10,000として指数化しています。
 ※基準価額は、信託報酬(年1.029%(税抜年0.980%))を控除した後の数値です。

支払い済分配金	
第1期(2009年9月30日)	0円
第2期(2010年9月30日)	0円
第3期(2011年9月30日)	0円
設定来合計	0円

ひふみ投信は分配金再投資専用の投資信託です。

TOPIX(東証株価指数)は当ファンドのベンチマーク(運用する際に目標とする基準)ではありませんが、参考として記載しています。
 TOPIXとは・・・東京証券取引所第一部に上場されているすべての銘柄の時価総額(株数×1株当り時価)の合計を指数化したものです。日本の株式市場全体の動きをあらわすともいえます。

ひふみ投信の資産内容について (2012年1月31日時点)

■ 資産の内訳

純資産総額	16.0億円
うち 株式	93.56%
うち 預金その他	6.44%
受益権総口数 (※)	1,322,062,133口

国別の割合	
日本株式	100%
海外株式	0%

(※「ひふみ投信」をお持ちのお客様の保有口数合計です)

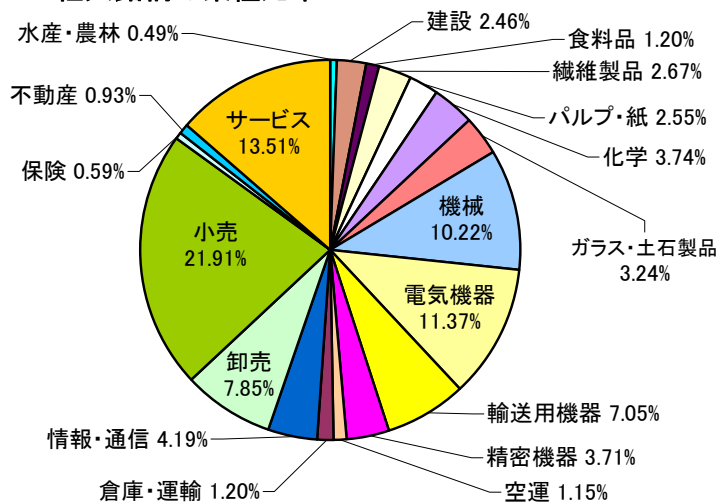
■ 組入比率の高い銘柄

(組入銘柄数:56銘柄)

銘柄コード	銘柄名	業種	比率
1	6594 日本電産	電気機器	3.65%
2	3046 ジェイアイエヌ	小売	2.96%
3	6954 ファナック	電気機器	2.80%
4	7262 ダイハツ工業	輸送用機器	2.75%
5	6301 小松製作所	機械	2.68%
6	2749 JPホールディングス	サービス	2.59%
7	3402 東レ	繊維製品	2.50%
8	7777 スリー・ディー・マトリックス	精密機器	2.40%
9	3951 朝日印刷	パルプ・紙	2.39%
10	2782 セリア	小売	2.33%

★組入比率は、株式・預金その他を含めた「純資産総額」に対する割合です。

■ 組入銘柄の業種比率



(注)業種比率は、「株式資産」を100として、それに対する割合です。

・本資料は、レオス・キャピタルワークス(以下「当社」といいます。)が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。
 ・本資料の作成にあたり、当社では情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
 ・本資料に掲載されている市場見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。
 ・投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、投資判断はお客さまご自身で行なっていただきますようお願いいたします。

◆「ひふみ投信」の概要について ※詳しくは投資信託説明書(目論見書)をご確認ください

商品分類	追加型投信／内外／株式	
当初設定日	平成20年10月1日	
信託期間	無期限	
決算	毎年9月30日(休業日の場合、翌営業日)	
収益の分配	決算時に収益分配方針に基づいて分配を行いません。	
お申込み	お申込単位	10,000円以上1円単位の金額指定でお申し込みください。
	お申込価額	ご購入のお申込受付日の翌営業日の基準価額となります。
	お申込受付日時	当社営業日の9時～15時までとなります。
途中換金	途中換金(解約)単位	1口以上または1円以上
	解約価額	「解約請求受付日」の翌営業日の基準価額となります。
	受付日時	当社営業日の15時までとなります。
課税関係	収益分配時の普通分配金、一部解約時および償還時の差益に対して課税されます。 ※今後税法が改正された場合などには、課税関係が変更になる場合があります。	

◆「ひふみ投信」に係るリスクについて

「ひふみ投信」は、国内外の株式を組み入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、国内および国外の経済・政治情勢などの影響を受け変動するため、株式の価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割り込むことがあります(株価変動リスク)。外貨建資産を組み入れた場合、為替レートの変動の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。投資国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、「ひふみ投信」の基準価額が大きく変動するリスクがあります(為替変動リスクとカントリーリスク)。したがって、お客様(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。その他には、流動性リスクや信用リスク等があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

◆ お客様の負担となる費用について

◇お客様に直接ご負担いただく費用：ありません

申込手数料・換金(解約)手数料・信託財産留保額 は一切ありません。

なお、「振込購入」に際しての送金手数料はお客様負担となります。

◇お客様に間接的にご負担いただく費用：次のとおりです

信託報酬	信託財産の純資産総額に対して年1.029%(税抜年0.980%)
監査費用	信託財産の純資産総額に対して年0.00525%(税抜年0.005%) (なお、上限を年間63万円(税抜60万円)とします。当該上限金額は契約条件の見直しにより変更となる場合があります。)
その他の費用	組入る有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料(それにかかる消費税) 先物取引・オプション取引等に要する費用、外貨建資産の保管等に要する費用 租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立替えた立替金の利息など

※「その他の費用」については、運用状況等により変動するものであり事前に料率、上限額等を表示することができません。

～お問い合わせ先～

コミュニケーション・センター 電話： 03-6266-0123 (平日9時～17時) メール：cc@rheos.jp

・本資料は、レオス・キャピタルワークス(以下「当社」といいます。)が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的で作成されたものではありません。

・本資料の作成にあたり、当社では情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。

・本資料に掲載されている市場見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。

・投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行なっていただきます